



SOMPO

安心・安全・健康のテーマパーク

株式会社プライムアシスタンス 鹿児島センター部 SDGsの取組



令和4年11月21日



鹿児島センター部 業務支援チーム

Copyright © Prime Assistance Inc. All Rights Reserved



1. プライムアシスタンスの概要

「最上級のサービス」で、世の中のあらゆるお困りごとをアシストする



移動の保険
UGOKU

Level IV Discovery

ロードアシスタンス
カーライフサポート
緊急通報
CASE
MaaS

安心・安全な
カーライフを
送りたい

モビリティ

健康・介護相談
高齢者向けサービス
認知症サポート

健康な生活を
送りたい

ヘルスケア



認知症サポート
SOMPO 笑顔倶楽部
月間PV数10万件突破

ホームアシスタンス
リビングアシスタンス
駆けつけ
見守り
IoT

安心して快適に
暮らしたい

ホーム

海外
(インバウンド)

民泊
メッセージ代行
医療アシスタンス
医療ツーリズム

安心して
日本で
楽しみたい

海外



Benry
TOTAL CONVENIENCE SERVICE

GYECO
アイコサポート

NEW
スマホでピタッと充実保険
入院パスポート

PRAコア・コンピタンス
人財 ● ネットワーク ● IT

PRA2023
サービス事業会社へ進化

Prime Heart
MIND ● SKILL ● JUDGEMENT

2019年頃～ 全社でSDGsを推進しようという動きが広まる。

- ・そもそもSDGsについてよく分かっていない。
- ・SDGsが単なる社会貢献活動と捉えられていて、事業と結び付けて考えることができていない。
- ・事業を通じてSDGsを推進する方法が分からない。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

STEP1

SDGsを理解する (担当者)

- ・ 担当者がSDGsを理解
- ・ 鹿児島センター内推進担当者はeco検定・SDGs検定を保有



3. これまでの取組 (STEP2)

STEP2

SDGsの理解・浸透 (全社員向け)



- SDGsに関する勉強会を全社員へ実施
- eco検定やSDGs検定を推進 (社内通信教育・資格取得支援あり)
- SDGs回覧の発行
- 全社員向けのテスト受講



ジェンダー平等って何だろう？

ジェンダー平等とは、ひとりひとりの人間が、性別にかかわらず、平等に責任や権利や機会を分かち合い、あらゆる物事を一緒に決めることができることです。

日本のジェンダー平等に関する状況を見てみよう！

ジェンダー平等の程度を指数にしたものをジェンダーギャップ指数といいます。この指数は「経済」「政治」「教育」「健康」4分野14項目の要素から構成されています。この指数、日本は世界156カ国中120位(2021年度)となっており先進国では最低レベルです。

順位	国名	スコア	変化率	前年順位
1	アイスランド	0.892	0.877	-
2	フィンランド	0.861	0.832	1
3	ノルウェー	0.849	0.842	-1
4	ニュージーランド	0.840	0.799	2
5	スウェーデン	0.823	0.820	-1
11	ドイツ	0.796	0.787	-1
16	フランス	0.784	0.761	-1
23	韓国	0.775	0.767	-2
24	カナダ	0.772	0.772	-5
30	米国	0.763	0.724	23
43	イタリア	0.721	0.697	13
79	タイ	0.710	0.708	-4
81	ロシア	0.708	0.706	-
87	ベトナム	0.701	0.700	-
101	インドネシア	0.688	0.700	-16
102	韓国	0.687	0.672	6
107	中国	0.682	0.676	-1
119	アンゴラ	0.657	0.640	-1
120	日本	0.656	0.652	1
121	シエラレオネ	0.655	0.668	-10

日本のスコア

分野	スコア	世界のスコア
経済	0.604	0.598
政治	0.061	0.049
教育	0.983	0.983
健康	0.973	0.979

上の表からわかるように日本は「経済」と「政治」の分野のスコア低くなっています。これは、政治・経済の中で何かを決める際に、女性と男性が同じように参加したり、リーダーになることができにくいことに意味しています。

★経済分野の問題点★
管理職に占める女性の割合が低い。(世界平均は27.1%であるのに対し、日本は14.7%)

★政治分野の問題点★
国会議員・大臣の女性の割合がどちらも10%に満たないこと、女性の都道府県知事の名の数が少ないこと、さらに、過去50年間で女性の行政事務長(内閣総理大臣)が存続していないことも原因の一つと考えられます。

また2つの問題の共通点として、家事や子育てといった家族の仕事をほとんど女性が行っていることが挙げられます。

ジェンダーギャップを解消するには何をすればいいの？

まずは、ジェンダー平等に興味をもち、理解することが大切です。そして、誰もが活躍できる環境を整備し(現在は男性が優位な社会状況のため)、仕事も家事も子育ても男女関係なく分け担っていくことが必要です。未来、女性や男性はこうあるべきといった固定観念にとらわれず、両者が平等に活躍できる社会が実現するように。

6月は環境月間です

平成33年度より6月の1か月間を「環境月間」として、全国で様々な行事が行われています。皆さんも改めて環境について考えてみましょう！

～鹿児島市の環境に対する取り組み～

ゼロカーボンシティがこしま

鹿児島市の温室効果ガス排出量のうち一番多いのは自動車(運輸部門)から排出されるもので全体の約35%。次に多いのが事務所などで消費したエネルギー(業務その他部門)から排出されるもので全体の約25%を占めています。

そのため、例えば自動車からバスや市電、自転車やかごりんへの転換、照明やパソコンなどのこまなスイッチオフを心がけるなど、一人ひとりが暮らしの中で、いまだできる「選択」を無理なく・楽しく実践していくことが重要です。

空調の適正化とその温度に適した軽装などの取組を促す「クールビズ」も「COOL CHOICE」の主要施策のひとつです！

このほかにも、鹿児島市はさまざまな環境に対する取り組みを行っています！身近なところから自分たち・大切な人の将来のために環境のことを考えていきましょう★

～6月清掃活動の様子～

今月も清掃活動のご参加ありがとうございました。これからも皆さんできれいにできるようご協力お願いいたします！

6月の参加者は**69名**でした！

次回は**7月21日 18:30～**を予定しております。詳細はKintone確認してください！

車もバイクさんの参加が嬉しかったです！

STEP3

SDGsの理解・取組推進①

■ 事業以外での取り組み (一部)

・ 毎月の清掃活動
(鹿児島市まち美化推進団体認定)



清掃活動

・ 認知症サポーターの養成
・ 世界アルツハイマーデー啓発活動

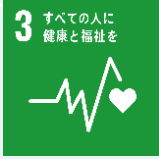


認知症サポーターの養成

・ シルバー人材の採用



・ 救命救急講習 (AED)



世界アルツハイマーデー啓発活動

・ 献血活動

STEP3

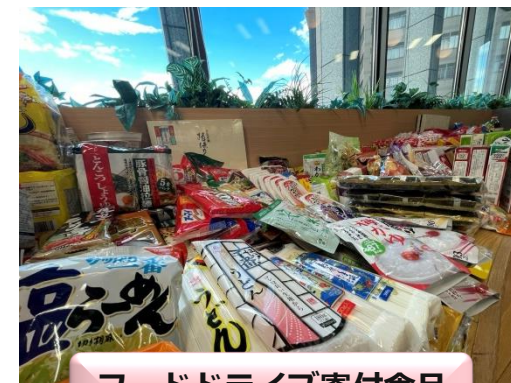
SDGsの理解・取組推進②

・地域子ども食堂へのフードドライブ

・アウェアネスリボン活動の支援

・ありがとうブック

1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	12 つくる責任 つかう責任
3 すべての人に健康と福祉を 		
3 すべての人に健康と福祉を 	12 つくる責任 つかう責任 	



フードドライブ寄付食品



「ありがとうブック」活動で集まった本など

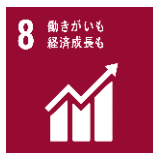


アウェアネスリボン支援

STEP3

SDGsの理解・取組推進③

・働き方改革・女性活躍推進



「かごしま『働き方改革』推進企業認定制度」の認定取得



令和3年度
「鹿児島県女性活躍推進優良企業知事表彰」の受賞



- ・ 時間単位、半日単位の休暇の分割付与
- ・ 仕事と介護や育児との両立支援制度
- ・ 自己啓発支援 等

- ・ 妊活のための休暇制度
- ・ プレパパ休暇制度
- ・ キャリアチャレンジ制度 等

STEP3

SDGsの理解・取組推進④

■事業を通じてSDGsを考える

(例) ロードアシスタンスの応答率を上げることができれば
事故や災害発生時レッカー車をすぐ手配することができる！

⇒事故や災害時にも対応できる
レジリエントな社会づくりに貢献。



自身の担当業務と
SDGsゴール達成が
どのように関連しているかを
考え、SDGsに関する
理解を深める。
(後づけマッピング)

本業として社会課題に向き合い、解決していくことを目指し
SDGsを意識した活動を展開する。

鹿児島県内での新サービスの普及提案



世の中のお困りごとをアシストし、新たな社会価値を創造する新事業の創出



Prime for you

あなたと社会をアシストする

